

2014年3月10日



## 「2014 国際にんにくシンポジウム」発表速報 熟成にんにく抽出液による心血管疾患リスクの軽減効果が判明

－ 処方箋治療薬との併用活用の可能性が示される結果に －

湧永製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：<sup>わくながかんじ</sup>湧永寛仁）が参加する「2014 国際にんにくシンポジウム（2014 International Garlic Symposium）」が、3月5日から6日までアメリカ・カリフォルニア州で開催され、熟成にんにく抽出液<sup>\*</sup>が心血管疾患リスクを軽減する役割を果たすことを示す複数の研究結果が発表されました。

UCLA のブドフ医学博士からは、心血管疾患の一因となる動脈硬化症の抑制効果が示され、オーストラリア総合医療研究所のリード博士からは、既存の薬剤が効きにくい高血圧患者に対し、降圧剤と熟成にんにく抽出液を一緒に摂取させることで血圧が正常域へ低下するという発表がなされました。また、リバプール・ジョン・ムアーズ大学のラーマン博士からは、心血管疾患の進行した患者において、血栓症の発症リスクを低減させる可能性が発表されました。

<sup>\*</sup>熟成にんにく抽出液とは、生にんにくを長期抽出・熟成したエキス（液体）です。生にんにくを熟成させることにより、その刺激性や臭いが低減されるとともに、生にんにくにはほとんど含まれない S-アリルシス테인などの有用成分が含まれます。

### ■ 動脈硬化症に対する熟成にんにく抽出液の抑制効果が判明

ブドフ博士からは、熟成にんにく抽出液が、心臓病発症リスクの高い患者（高脂血症治療薬摂取者）の冠動脈石灰化の進行の抑制が認められたという発表のほか、血管内皮機能の改善、LDL コレステロールの低下、その他動脈硬化との関連性が指摘されている C-反応性タンパク、ホモシス테인、HDL コレステロールの値についても大幅に改善することが示され、心筋梗塞や脳梗塞など心血管疾患の原因となる動脈硬化症の進行を遅らせることが示されました。これにより、心血管疾患に対する予防医療の一環としての熟成にんにく抽出液の活用が期待されます。

<マシュー・ブドフ（Matthew Budoff）医学博士>

UCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）医学部教授、ハーバーUCLA メディカルセンター部長

### ■ 熟成にんにく抽出液が高血圧治療で使用される降圧剤を補完

リード博士からは、既存の降圧剤が効きにくい高血圧患者に対し、熟成にんにく抽出液を12週間摂取した群と摂取しない群を比較する臨床試験結果が発表されました。摂取しない群では、降圧剤を使用しているにも関わらず最高血圧の平均が138mmHgであったのに対し、熟成にんにく抽出液を摂取した群は126mmHgと有意性が確認されました。今後、高血圧治療での熟成にんにく抽出液の活用により、降圧剤の効果を補完することが期待されています。

<カレン・リード (Karin Ried) 博士>

オーストラリア総合医療研究所 (National Institute of Integrative Medicine) 部長

### ■ 熟成にんにく抽出液が血栓症の発症を低減

ラーマン博士の発表では、ヒト血小板の凝集（血栓の原因となる）状態を実験で発現させ、そこに熟成にんにく抽出液を加えることで、血小板凝集が起こりにくくなることが証明されました。これにより、熟成にんにく抽出液が、心血管疾患の進行した患者に対して血小板の凝集による血栓症の発症リスクを低減させる可能性が明らかになりました。

<カリド・ラーマン (Khalid Rahman) 博士>

リバプール・ジョン・ムーアーズ大学 (Liverpool John Moores University) 生理化学教授

### ■ 「国際にんにくシンポジウム (International Garlic Symposium)」について

「国際にんにくシンポジウム」は、にんにくの健康効果研究の発表の場として開催される国際会議です。1990年にアメリカで第1回大会が開催され、毎回、各国の研究者から興味深い研究結果が報告されています。5回目となる今年のシンポジウムは、心血管疾患の予防、メタボリックシンドローム、免疫に対するにんにくの役割をテーマに行われ、世界22カ国、約140名が参加しました。

<http://garlicsymposium.com/>

※ 3月14日（金）16時から帝国ホテルで開催予定の「にんにく研究成果発表会」において、より詳しい研究成果をご説明いたします。

### ■ 湧永製薬株式会社について

湧永製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：湧永寛仁<sup>わくながかんじ</sup>）は、1955年の創業以来、病気の予防に重点を置き、人びとの元気、健康維持に広く貢献することを使命と考え、医薬品や健康補助食品の開発・製造を行ってまいりました。また、天然素材、特ににんにくに着目して研究を行っており、にんにくの研究では、他に例を見ない多数の研究論文を国内外で発表しております。

これまでの数多くの研究から、国内では熟成にんにく抽出液を含有する一般用医薬品として、滋養強壮剤の国内トップブランドである「キョーレオピン」シリーズを、また海外では「KYOLIC（キョーリック）」シリーズとして、世界50カ国での販売実績がございます。

また、高品質で安全な製品をお届けするために、手間を惜しまないにんにくの栽培から始まり、徹底した品質管理、販売後のトレーサビリティシステムの確立などにも取り組んでおります。

<http://www.wakunaga.co.jp/>